

平成29年度
保育所の自己評価

評価基準 A:おおむね達成出来ている B:ほぼ出来ている C:検討・改善が必要

※当てはまる評価に○を付けて下さい。

平成29年度

項目	内 容	評価			点数	意見
		A	B	C		
保育課程	①保育課程の作成には職員が参加している。	○			3.8	園長、主任、副園長、クラスリーダーが主となり作成に取り組んでいる。
	②地域の実態や保育者の意向などを考慮して、保育課程を作成している。	○			3.6	
保育理念	☆豊かな人間性をもった子どもを育成するために、情緒の安定と発達をはかり「感謝の心」を養い「子ども自身がいきっていく力」を育て、「生きる喜び」「健康で創造力のある子ども」をそだてていく。	/				年度初めに全職員で確認しているが、保護者が見える場所に提示は出来ていない状況である。
	①保育理念を年度初めに職員で確認している。	○			2.9	
	②職員や保護者の見やすい場所に掲示している。		○		2.2	
	③保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している。	○			3.6	
保育目的	☆心身ともに、健康でたくましい子ども。ありがとう、ごめんなさいをすなおに言えることも自然環境に興味を持つ子ども。子ども一人ひとりの個性を大切に、子どもとともに創る。	/				子どもたちと一緒に毎日の日課として、保育目標を声に出している。
	①保育目標は、社会の要請や保護者の願を反映しているか。	○			3.4	
	②保育目標は、前年度のはんせいを活かし、全職員で検討し、かつ共有理解を図っているか。	○			3.5	
指導計画	①各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画になっているか。	○			3.8	次年度のクラス配置が決まり次第、計画に取りかかる。
	②環境構成や素材・用具を適切にいかした保育計画にかっているか。	○			3.8	
	③保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいに及び内容を設定している。	○			3.4	
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている。	○			3.3	子ども一人ひとりと向き合う時間を大切に配慮し、人間関係が育つようにしている。
	②子どもの基本的な生活習慣が身につくように積極的に活動できるよう、環境が整備されている。	○			3.3	
	③様々な表現活動が体験できるように配慮している。		○		2.2	
	④身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。		○		2.3	
	⑤遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	○			3.5	
保育・行事	①一日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。	○			3.4	季節・気候に合った設定を取り入れ、子どもたちの表情なども観察していく。
	②行事の種類や実施計画は適切である。		○		2.2	
	③計画・実施・評価・改善の体制がとられているか。		○		2.3	
	④保護者の願いや意見を取り入れているか。	○			3.1	
康管	①健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為「園便り」「保健だより」などで情報を保護者に提供しているか。	○			3.7	感染症など常に気を配り、0・1歳児に関しては文書を発行している。
	②乳幼児の安全確保のため、家庭、地域社会、関係機関との連携を図っているか。	○			3.4	
	③感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している。	○			3.7	
食事	①食事を通して子ども達が楽しむ食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	○			3.4	保護者・担任・調理員が密に連携を取り合い確認している。
	②アレルギー疾患などを持つ子に対し主治医からの指示を得て適当な対応を行っている。	○			3.3	
	③間違えのないよう個別のトレーのなどで分け調理師同士や保育士と確認している。	○			3.7	

平成29年度
保育所の自己評価

評価基準 A:おおむね達成出来ている B:ほぼ出来ている C:検討・改善が必要
※当てはまる評価に○を付けて下さい。 平成29年度

項目	内容	評価			点数	意見
		A	B	C		
環境	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるように配慮している。	○			3.6	・玄関のディスプレイを利用し季節や行事が伝わるようにしている。
	②園内外の衛生面・安全面に配慮している。	○			3.4	
	③園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている。	○			3.6	
人間尊重	①子どもの人権を十分に配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。	○			3.8	・当園に外国語のみの保護者がいないのですが、英語が得意な職員もいるので心強い。
	②日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮している。		○		2.6	
	③性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないように配慮している。	○			3.4	
子育て支援	①送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会をつけて相談に応じて個別面談を行っている。	○			3.8	・保護者の不安な気持ちや相談したい気持ちに寄り添っていきけるように心がけている。
	②家庭の状況や保護者との情報交換は、必要に応じて、関係職員に周知されている。	○			3.4	
	③保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。	○			3.4	
	④あらかじめ年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参観の予定を立てやすくしている。		○		2.6	
地域との連携	①地域の関係者機関などと連携を深めるようにしている。(育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が出来ている。)	○			3.6	・地域の高等学校の職場体験の受け入れなどを行っています。
	②地域のイベントやまつりに参加し、地域の人々と交流できる機会をつけている。	○			3.4	
	③ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。	○			3.8	
	④幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他施設と交流しているか。	○			3.4	
開かれた保育所づくり	①地域子育て支援センターとして園庭や中庭、保育室などを開放しているか。	○			3.3	・不審者対策として窓口(事務所)で受け入れをして、場を設けている。
	②地域の子ども達同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○			3.2	
	③職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○			3.2	
	④参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○			3.4	
	⑤保育園だより、クラスだより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○			3.5	
危機管理	①避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			3.4	・月に1度の避難訓練や年に1度の交通安全指導に参加し安全に避難したり、交通ルールを学ぶ機会を設けています。
	②緊急時、慌てず対応できるように、医療機関の連絡先を表示しているか。	○			3.7	
	③乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っているか。	○			3.6	
守秘義務	①子どもの個別記録は個人情報保護法に基づき管理しているか。	○			3.5	・子どもたちの写真や緊急連絡票などの管理に注意をしている。
	②保育業務で知れた子どもの家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか。	○			3.2	
園内研修	①各研修・講習会への参加体制の充実を図っているか。	○			3.2	・研修後は園のミーティングにて職員に伝え、保育に取り入れたりしている。
	②研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映させているか。	○			3.3	
組織運営	①係りや仕事の分担・役割は適切であるか。	○			3.7	・改善点があるある場合はクラスで話したり職員で話をする機会を設けている。
	②職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなく保育園の運営にかかわっているか。	○			3.4	
	③職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。	○			3.5	

平成29年度
保育所の自己評価

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当各保育所の保育の内容について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づき検討し、保育園(組織)としての自己評価について、評価の項目、支点方法および評価結果の示し方等について標準的な様式として作成しました。当保育園は、保育士自ら、園を評価及びこれに基づく改善という一連の取り組むことにより保育の質の向上を図ります。

〈評価について〉

評価するにあたっては、以下のような基準で行っています。

- A—大変良い (4点)
- B—ほぼ出来ている (2点)
- C—改善を要する (1点)

保育士の評価を点数を表しています。